**菊地敦己✖️ 田中良治「録音とコピー PROMO ONLY」**

OFS GALLERYでは、菊地敦己と田中良治による展覧会「録音とコピー PROMO ONLY」を開催します。カセットテープをフォーマットに、二人が録音／セレクトした音と新作のグラフィックが展開されます。カセットの音は、会場に設置されたデッキで自由に再生可能で、専用のカセットを購入した方はダビングしてお持ち帰りすることもできます。音とグラフィックが拮抗する世界をどうぞお楽しみください。

会期：2024.5.16（木）〜 6.17（月）

会場：OFS GALLERY

open：12:00〜20:00（最終日は18時まで）

close：火・水

※ 6月1日（土）はイベント開催を予定しております。

　詳細は後日WEB、SNSでお知らせいたします。

●菊地敦己　グラフィックデザイナー

田中さんがカセットテープを持ってきて、これで展示をやろうと言う。最近カセットデッキを買ったらしい。そういえば、しばらく録音をしていなかった。僕も小さなカセットレコーダーを買った。感覚器官がひとつ増えたような気がして、楽しい。

＜プロフィール＞

1974年東京生まれ。武蔵野美術大学彫刻学科中退。2000年ブルーマーク設立、2011年解散、以降個人事務所。美術や工芸、建築、ファッションなどの分野を中心に、ブランド計画、ロゴデザイン、サイン計画、エディトリアルデザインなどを手掛けるほか、平面表現に言及した作品制作、展覧会も多い。主な仕事に、青森県立美術館（2006）やPLAY! MUSEUM（2020）のVI・サイン計画、ミナ ペルホネン（1995-2004）、サリー・スコット（2002-22）のアートディレクション、亀の子スポンジのパッケージデザインほか。主な受賞に亀倉雄策賞、講談社出版文化賞、日本パッケージデザイン大賞、原弘賞など。

●田中良治　ウェブ・デザイナー

僕はデザインが中身（コンテンツ）に寄りかかっている（ように見える）ものが好きだ。それは巷で言われている寄り添うデザインとは真逆だ。僕にとって今回の展示における中身とは「音」と「菊地敦己」だ。

＜プロフィール＞

1975年三重県生まれ。同志社大学工学部および岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー卒業。2003年セミトランスペアレント・デザイン設立。ウェブサイトの企画・制作から国内外の美術館・ギャラリーでの作品展示までウェブを核とした領域にとらわれない活動を行っている。主な活動に、「オープンスペース」2008、2015／NTTインターコミュニケーションセンター、セミトランスペアレント・デザイン「退屈」／ギンザ・グラフィック・ギャラリー、「光るグラフィック展」0、1、2／クリエイションギャラリーG8の企画・キュレーションなど。’15年JAGDA新人賞、’21年亀倉雄策賞受賞、'23年Tokyo ADC賞受賞など。